



Watch my town

～ 最近の西小山駅周辺 ～

原町一丁目7番・8番地区防災街区整備事業が進んでいます

西小山駅北側に面する街区一帯は、令和4年2月現在工事用パネルで囲われ、建物の解体が進んでいます。地区内の「クラフトビレッジ西小山」は、工事期間中も営業しています。

地区名：原町一丁目7番・8番地区（約0.4ha）

事業者：原町一丁目7番・8番地区防災街区整備事業組合

建設戸数：住戸110戸、店舗12区画（予定）

公共施設等：賑わい広場 約224㎡、道路整備等

主なスケジュール：

令和3年12月 解体工事着手

令和4年4月 防災施設建築物工事着手

令和6年3月 同建築物 工事完了



原町一丁目7番・8番地区（令和4年1月撮影）

西小山街づくり整備計画の改定に向けて検討しています

平成25年度に策定された「西小山街づくり整備計画」の見直しにあたり、令和3年11月には、原町一丁目1番から19番にお住まいの方や土地・建物の所有者を対象にアンケートを実施し、地域の意見を踏まえながら、西小山街づくり協議会及び3つの分科会にて、「西小山まちづくり提案（仮称）」を検討しているところです。

とりまとめた提案を協議会から区に提出し、それを受けて区では、令和4年度末までに整備計画の改定を行う予定です。



西小山街づくり検討区域
（出典：目黒区ホームページ）

お問い合わせについては、事務局までお願いします。

事務局：目黒区 街づくり推進部 木密地域整備課（担当：田代、岡田、栗山）

〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15（目黒区総合庁舎 本館6階）

TEL：5722-9657（直通） FAX：5722-9239 Mail：tosei02@city.meguro.tokyo.jp

目黒本町六丁目・原町地区街づくりニュース No.58

目黒本町六丁目・原町地区 密集市街地総合防災協議会 発行

密集市街地総合防災計画を見直しました

西小山駅前や補助46号線沿道整備等により、街が大きく変わりつつある中で、地域の皆さまには、日頃より目黒本町六丁目・原町地区のまちづくりにご尽力いただきありがとうございます。

今年度、目黒本町六丁目・原町地区及び隣接する目黒本町五丁目地区の密集市街地総合防災計画の内容を見直し、国及び東京都から承認される予定です。

整備の目標

「密集市街地の解消」と「延焼遮断帯の形成」により、「災害に強い街」を目指す

事業期間：

令和3年度から令和7年度まで
（5年間／事業導入は平成13年度）

地区面積：42.2ha

事業概要：

建替促進、公園用地の取得・整備、
防災街区整備事業、電線共同溝整備

公園・広場の整備に向けて

防災性・住環境向上のため、
公園・広場用地を探しています。

公園・広場整備にご協力いただけたら、事務局（4頁に連絡先を掲載）へご相談ください。



事業概要及び公園必要エリア図

令和3年度 目黒本町六丁目・原町地区 協議会の開催概要

令和3年度の協議会は、3回開催しましたが、社会情勢等を踏まえ、2回は書面での開催となりました。主な議題と協議会員のご意見を報告します。

令和3年7月8日 第1回協議会（月光原住区センター）

◇議題：密集市街地総合防災事業の継続について、不燃化特区エリアの拡張について等

◇意見：協議会の参加者が少ないので、地域の皆さんから若いメンバーなど推薦をお願いしたい。まちに興味のある方を育てることも協議会の役目だと思う。（その他、防災街区整備事業や不燃化特区エリアの拡張等について質疑応答が交わされました。）



令和3年度第1回協議会の様子

令和3年10月29日 第2回協議会（書面開催）

◇議題：密集市街地総合防災計画書（案）、公園・広場用地の取得に向けた取組

◇意見：防災性の向上への要望、計画書の実現方策や図などの分かりやすい表記の希望

令和4年2月3日 第3回協議会（書面開催）

◇議題：密集市街地総合防災計画、建替え等助成の実績、その他のまちづくり（西小山街づくり協議会・46沿道まちづくり協議会等）の取組状況の報告

令和3年度 建替え等助成の実績

地区内には、不燃化特区及び補助46号線沿道を対象に、建替え等を助成しています。不燃化特区については、令和3年度から対象範囲を拡張（1面の図を参考）し、制度の周知を呼びかけています。この機会にぜひ助成制度の活用をご検討ください。

令和3年度 不燃化特区支援制度 活用実績

目黒本町五・六丁目、原町一丁目、洗足一丁目地区	専門家派遣	老朽建築物除却助成	戸建建替え助成	共同住宅建替え助成	仮住居費助成（新制度）	老朽建築物からの住替え助成
	6件（8件）	10件（21件）	2件（6件）	1件（2件）	1件（3件）	1件（1件）

令和3年度 都市防災不燃化促進事業 活用実績

原町一丁目、洗足一丁目地区	一般建築費助成	除却費助成	仮住居費助成	移転費助成	共同化助成
	3件（9件）	2件（2件）	1件（2件）	0件（1件）	0件（2件）

表の件数はいずれも以下のとおり
上段：令和3年4月1日から令和3年12月31日までの実績
下段：令和3年4月1日から令和4年3月31日までの見込み

46沿道まちづくり提案（原町一丁目・洗足一丁目地区）を
関係協議会及び町会の連名で提出します

「原町一丁目・洗足一丁目地区46沿道まちづくり協議会（以下「46協議会」という）」は、補助第46号線の整備にあわせて、地元住民と目黒区等が協力して地域にふさわしい沿道まちづくりを推進することを目的として、平成25年8月8日に発足しました。46協議会は、原町一丁目・洗足一丁目地区の関係町会長、関係町会の推薦者、居住者、関係権利者で構成されています。46協議会では、補助第46号線によって“地域を分断する”のではなく、道路を“地域が活用する”ことで、補助第46号線を「地域にとっての新たな防災拠点」として、また、「地域の活性化やコミュニティ形成の場」として機能させたいという思いから、多くの地域の皆様の協力・賛同を得て、「46沿道まちづくり提案」をまとめました。

提案書は、関係する協議会・町会とともに、目黒本町六丁目・原町地区密集市街地総合防災協議会も連名で、46協議会が東京都及び目黒区へ提出します。

道路整備と一体となった沿道まちづくりのコンセプトと4つの方向性

コンセプト “まちを分断する道路” から “まちをつなぐ道路” へ

— 沿道まちづくりの4つの方向性 —

- 【方向性1】46をさらに地域の防災性を向上させる道路にする
- 【方向性2】46を活用して地域コミュニティを継承し、賑わいを創出する
- 【方向性3】46を通じてみどり豊かな潤いのあるまちなみを形成する
- 【方向性4】46を“だれもがあるきたくなる”歩車が共存するみちにする

東京都に対する意見・要望

補助第46号線全体の統一性を保ちながら、西小山駅前地区である原町一丁目・洗足一丁目地区の特性を活かした道路整備を望みます。したがって、局を超えた「オール東京都」として前向きに検討し対応いただくようお願いいたします。

具体的な意見・要望

- 5.5mの歩道幅員の確保
- 地域の防災性を向上させる設備の設置
 - ①スタンドパイプ等防災設備の設置
 - ②防災倉庫等の設置場所の確保
- ガードパイプや信号機等の交通安全施設の適切な設置
- 自転車と歩行者の通行帯の分離
- 雨水浸透機能を有する植栽帯の設置
- 場所に応じた植栽配置と地域主体の植栽検討
- 工事着手前及び工事期間中の安全対策

目黒区に対する意見・要望

補助第46号線の整備にあたって、さらなる地域の防災性向上を図るため、東京都の道路拡幅等に対する協力や、この提案の実現に向けて東京都や地域をつなぐ調整役となっていただくことを期待しております。

具体的な意見・要望

- スタンドパイプ等防災設備の設置
- 補助第46号線沿道への公園やポケットパークの整備
- 建替え促進支援の継続的な実施と不燃化促進
- 防災倉庫等の設置に関する手続き等の支援
- 46沿道でのAED設置箇所や非常用電源の確保
- 周辺地域の情報共有活性化に向けた支援
- 補助第46号線周辺の交通安全対策
- 協議会の円滑な運営支援
- 東京都と地域とのつなぎ役